

1979年4月号

1979年4月5日発行(毎月1回5日発行)

No.36

あんふあんて

発行人 発行所 ぶんふあんて出版部
定価 100 円 振替口座 ぶんふあんでの会

逐次刊行物

昭 54.6.16

国立婦人教育会館
情報図書室

詩
イラスト

風をつかみなさい むすめ
さらさらとなる鉛筆の音にさえ
耳をくすぐられるあなた
こちらとあちら
冬と春の出会いのまんなかで
身を映かすあなた
こちらよりもあちら
小さなげんこを宙にひらいて
風をつかみなさい むすめ



逐次刊行物

昭 54.4.17

国立婦人教育会館
情報図書室

H.M.

あんふぁんての日



共同保育って何だろう？

今まで私達は、共同保育ということばを使ってきたけれど、なんだか安易に使ってきたような気がする。何人かの親が集まり、子どもを見合わせるだけで共同保育と言えるのだろうか。

先日、じゃがいも共同保育所を見学した。じゃがいもは、預る側(保育者)と預ける側(親)が共同で、保育を考え運営しているところだ。そこではどういう子どもを育てていこうとしているのか。つまり大人(保育者)が子どもとどう関わっていくのかという、きちんとした方針があり、地域の保育環境の整備という視点から行政との交渉が行なわれ、移転した際の改造費用もとっている。

私達も同じようにやろうとかいうことではもちろんないけれど、少くとも子どものことを考えた時、やれること、考えなくてはいけないことがたくさんあると思う。集団の意味も、ひとり、ひとり個性もちがえば、年齢もちがう子どもがいて、その中でひとつのことを作り上げていく過程で、小さい子や、うまくできない子のことも考え、助け合いながらやっていくことにあるだろう。その子どもに関わっていく大人達が、共通の問題にぶつかり、たち向かっていくことは重要なことだと思う。

私達のまわりを見れば、公害(食べもの、合成洗剤、車、大気汚染等々)「障害(児)者」の問題、婦人労働者の問題(保育と密接な関係にある)等々数え上げればきりがない。公害といえれば問題が大きくて分るくなくちゃって、毎日食べているもののことを考えればよく分ると思う。私達が日々口にしているものは安全か？安全でないとなれば、どうやって安全なものを手に入れるか。食品に対する知識も必要となるだろう。「障害(児)者」の問題。これだて日々子どもと関わっていれば無視して通することはできない。頭で「障害(児)者」は差別しちゃいけないと思っけていても、毎日、子どもに「こんなことができないなんて、バカねえ」なんて言っちゃって、それかもしれない。気付かない中で、頭で考えていることとはちがうことをやっているとわかっていく。だいたい自分が「障害(児)者」についてどれだけのことを理解しているのか、問われてくるだろう。やっぱりやらなきゃならないことって、いっぱいあるなあ。

こんななにいっぱいある問題を全部ひとりでやるなんてできない。となれば、グループ内の個人個人が関心のあることを調べたり、勉強したりして、それをどうやって解決していくか、皆で考えて実行していく。又、グループ内の個人個人が抱えている問題、たとえば母親が病氣した時、お産の時など、それを個人の問題としてしまわないで、グループでどういうふうな解決していくか、皆で考え実行していく。それでこそ共同で保育していくことの中身になると思うのだ。(秋元)

新会員のひとこと

●日本で育児が、全く女の問題としてうけとられている社会的背景について考えています。育児に関して、私の感じでは、女は悩みすぎているし、男は悩まなさすぎている。

●子どもを二人生んだら仕事をしたいと思っています(現在一人)。その時の為に、今の子育ての時期をいかに有意義に過ごすかで仕事の成功が決まってくると思う。共同保育を始めて、たくさんの子どもの育てられたい自分を感じます。

●母親が、子どもを「預けて」仕事をしている場合、一番ガンになるのは周囲の「子どもがかわいそう」という、ヘンな同情。日本ではとくに強くかんじる。

●子どもを育てていくうちに、もっと具体的な形で手も足もでないまわりを知りました。常に自分自身の子どもの時代をふり返りながら、もっと自然な形で子育てができないかと思っっている中で「あんふぁんて」を知り、これだとはかりに今、しがみついています。

●自分のこれから生活の中に、どうやって仕事をとり込んで行けるかを考えたいのです。もう三十歳になります。そろそろ本気になる方向を決めねば時間切れになってしまいうのは、と気が気ではありません。

●約一ヶ月後に初めての生産の予定です。子どもも大切にしたいけれど、自分も大切にしたい、子どもと共に自分も伸びてゆきたいと思っ、参加することにしました。

小学校って

どんなところ？



二月十一日のミーティングは七名の参加だったが、非常に熱心に話は進んだ。

最初に、イー学校、ワルイ学校、イー先生ワルイ先生という話が出た。確かに地域によってずい分とちがいはあるが、一体どういうのをそう呼ぶのだろうか。そして、私たち自身はどういうのをイーとしていきたいのだろうか。そこがポイントだ。

そんな中からの「障害をもつ子ども差別しないような、開かれた集団……」ということばがきっかけで、話は今年から実施の「養護学校義務化」について移り、現場教師からの説明を受けた。就学児検診はもろろのこと、赤ちゃんの時から定期検診はすべて、記録され、選別・差別の元台帳になっていること。その決定権は教育委員会の中の判別委員会というものがもち、親の選択権が失くなってしまっていること。義務化は当然でヨイことと納得しがちだが、実際は健常児の教育効果(これ自体も、もはや疑問だが)を高めるための隔離に他ならないこと。まして、現場の教師のほとんどが、労働の軽減化もあって賛成していること。実際に障害児・自閉症児をもつてみて(もちろん普通学級の中で)、絶対に互いの子どもにとって一緒の方がヨイこと。運動会でも、父母たちや全校生徒たちの前で、足が悪いが皆と同じように走り、一度

ころんだが、お母さんも担任の自分も、同級生も助けに出ず、ついに自力で走り抜き、まわりの人も皆で喜び合い、そういうことをわかり合い学び合うチャンスが得られたこと。又、滋賀県の重度障害者施設「止揚学園」の福井達雨氏の経験談によると、施設内でどんなに教育しても三歳のカベを破れなかったが、地域の普通学校へ思い切った入れてみたら、六歳児ぐらいまで成長した。だから、子どもはまわりの環境がつくるものだという。次々と熱心に話す彼女のことは感動的でもあり、少なからずショックだった。

もし、実際に養護学校行きを勧告されたらどうしたらいいのか。養護学校や養護学級を併設している普通学校はほとんどが自分たちの住まい生活の地から遠く通わなければならぬし、又は寄宿である。少し前テレビ長崎のドキュメントでやっていた長崎大教授の子の場合、「寄宿するくらいなら学校へ行かせない。家族と共に生活することを含めた子どもの生存権だ。家族にとっても隔離した兄弟は意味をもたない。」と主張し、近くの普通学校へ入学が決った。しかし、いまだに毎朝学校の門まで行って、閉め出されている子もいるのだ。いざという時に主張しつづけ、闘う。その仲間が必要だ。積極的にやる気なら「がっこの会」というグループがある。そこまでできなくても、私たちにまずできることは、関心をもって現実を見ること、見張ることだ。

学童クラブのことなども出たが、もっと話し合いたいことも多く、続きの次回を約束して終わりにした。(古知)

4月交流会

△からだのおしゃべり会▽

最近いくつかの投稿にもあったように私たちにとって「避妊」又は第二子の「出産」というのは、かなりの重要性をもつて迫っている問題です。一度産んだことのある身にとって、からだのこと、深く追求しないままやっていける、何となくの自信があったりして、見過ごしがちです。まずは自分のからだについて話すことから始めませんか。遠方の人は手紙で参加もできますよ。又、「全体」という自分のからだを自分で管理していくという考え方についても話してもらい、からだを動かしたりしてみます。

4月15日(日) 1時～5時

荻窪地域市民センター(中央線荻窪駅南口15分 (予定))

子どもも一緒に。参加費一人二百円。

ぐるうぶ編集のページ

北九州ぐるうぶ

履 歴 書

私たちがやってきたこと

S 50	10	朝日新聞による呼びかけで初会合。七名参加
	11	再度、毎日、読売での呼びかけで二回目例会。20名参加
S 51	3	忘年会(会員宅) 例会は月一度 合宿を兼ねた例会 会費、共同保育など、具体的なことの決定。 おしゃべりノートの回覧 共同保育開始(週一回) グループだより第1発行 小倉競馬場日帰りツアー 合宿(二泊三日、厚生年金スポーツセンター) この時の模様はRKBテレビにて放映される。 グループだより第2発行 都合により、共同保育中止 グループだより第3発行 グループだより第4発行 合宿(一泊二日、帆柱山国民宿舎) グループだより第5発行 数名で「北九州婦人問題研究会」主催の公民館講座に出席 グループだより第6発行 不用品バザー(会員宅ガレージ開放) 「新幹線にベビーカー」の署名運動(小倉北区役所前) グループだより第7発行 例会は月二度とする。 合宿(一泊二日、帆柱山国民宿舎) 読書会「現代子育て考」 不要品バザー(団地内スーパの前) 売上げの一部を保険料としてカンパ グループだより第8発行
S 52	2	グループだより第3発行
S 53	1	グループだより第5発行
	2	グループだより第6発行
	3	「新幹線にベビーカー」の署名運動(小倉北区役所前)
	4	グループだより第7発行
	5	グループだより第8発行
	6	グループだより第9発行
	7	グループだより第10発行
	8	グループだより第11発行
	9	グループだより第12発行
	10	グループだより第13発行
	11	グループだより第14発行
	12	グループだより第15発行



グループを彩る人々紹介

—その豊かな個性きらめく才覚—

梅木	ニューフェイス。今後の活躍が期待される新人。
奥野	話題豊富。社交性ならこの人ノ決定。
小野	一見中学生。実はガキがガキ産んで二児の母。
熊沢	良妻賢母を絵に描いてワックスをかけたような女性。
古賀	脱専業主婦第一号。只今休業中。一見パンク風。実は女学生のよう。
近藤	脱専業主婦第一号。只今休業中。一見パンク風。実は女学生のよう。
中村	小説と酒と〇を愛する人。自立をめざしてスナック経営。
西山	意志の強さではこの人。只今子育てに大忙し。
野見山	若さに似ず趣味は謡曲。唯一人姑さんと同居中。
三隅	幼稚園のセンセイの助っ人として輝いてます。ピッカピカの...
山田	発足以来グループを明るく照らす存在。現在デンキ屋さん。納得ノ北九州グループの代表取締役。
吉村	現在もう肌脱いで水泳コーチ。ボス3児のあなた。人三倍のがんばり屋。保証つきノ女の鏡じゃノ渡辺

新幹線にベビーカーの設置を!!

街頭署名活動報告

53年6月25日

二十四日夜のどしゃ降りの雨に、あすの街頭署名、大丈夫かしらと、みんな心配していたけれど、二十五日の朝には、カラリとまではいかないが、なんとか雨もあがり、子連れ参加者一同ほっと一安心。
朝十時半、むし暑いどんよりした梅雨空の下、参加者のほとんどが初体験の街頭署名活動、いよいよスタート。
駅弁売りよろしく首からひもで署名板を下げ、道ゆく人々に署名をよびかける。ものめずらしそうにジロジロながめられたり、あからさまに避けて通られたり……一同緊張の連続。
「新幹線に母乳を飲ませる場所や、オムツがえの場所を設置してもらおう為の署名です。ご協力下さいい！」
と道ゆく人ひとりひとりに、まさに食い下がって署名を促す。
一つの署名を取る為には最低一回の趣旨説明。実際にはあれこれと説明したあげく、知らん顔して通りすぎて行ってしまう人がたくさんいるので(よくああいいう態度がとれるも

んだと、あとでみんな口々に話した)同じ説明を何百回としなければならず、おかげでみんな、のどがからから。
「新聞で読んで知ってるよ」とか、「本当に必要ですネ」とか、「孫の為に署名しとこるか」とか言って、こころよく引き受けてくれる人達もたくさんいたけど、一方では、「新幹線?! カンケイないね」とか、「飛行機に乗るからいいわ」とか、「うちの子はもうオムツとれたから」とか、何とも早や返す言葉につまるようなことをいう人達もたくさんいて、おちからのムシ暑い天気、皆汗だくであった。
あとで感想を話した時、皆の一致した意見だったのだけれど、どういうわけか妊婦がツインと知らん顔して通りすぎてゆく。こちらはぜひ内容を理解した上で協力してもらいたい相手だと思っているものだから、通りすぎる妊婦に食いさがっていっしょについて歩きながら、いかに今のままでは、子連れにとって新幹線が不便なものか一段と熱を入れて、一生懸命話すのだけれど、うさんくさそうにジロリとこちらを見てあとは知らん顔してさっさと歩いて行ってしまう。こちらの話に対して足も止めない。
一体何を考えているのだろうし。
エイトツノ、せいぜい苦勞したらいわつとつい思ってしまう反面、なんともはや、がっかりする。同じ女が汗流してやっていることにどうしてもっと親しみが持てないのか。ともあれ参加者一人一人が、いろいろな人と接してうれしかったり、冷汗かいたり、アタマにきたり、それでもなんとか五〇〇名の

署名を集めることができた。
最後に、なんともムシ暑いさなか、ベビーカーでお母ちゃん達の奮闘につき合ってくれた加奈ちゃん、美穂ちゃん、お疲れさま。ピラを配ったり、泣き出した加奈ちゃんたちの相手をしたりしてこの日の署名活動に大きく貢献してくれたじん君、げん君、ごろうさまでした。

以上が私達、北九州グループの初体験の活動報告です。あれから早や九ヶ月。全国のあるふあんで会員の署名運動の成果がみごとに実り(まあ、あんふあんでからのつき上げだけではこううまくはいかなかったとは思いますが)今新幹線には待望のベビーカーが設置されました。
実のところ私はベビーカーが設置されてからの新幹線に乗ったことがありません。どなたかベビーカーを使用された方、使心地はどうであったか、形ばかりのものでなく、本当に役立つ設備であったかどうかなど感想を投稿して下さいませんか。
(小野)



私にとって「あんふあんて」とは一体何だろうか。と考へてみる。共同保育の観点からすると私には全くといってよい程今はもう必要ないのである。今改めて年子の子を育てて息つく暇もなく子育てに奔走していた頃を振り返ってみる。一番子供に手のかかる時期での見知らぬ土地への転勤。夫の二年間の出張。どこに行くのにも金魚のフンの様に子供を連れて歩き、電車やバスに乗るのにも子供連れはまわりに気がねをし、一切の世界とは交渉を断たざるを得ない状態に追いこまれる。

遠い世界の出来事だった子殺しが、一歩間違えば我が身に振りかかることを知り呆然とさせられ、子供が憎いとさえ思ったあの頃、味方であるはずの女も、自分がたどった道を歩ませようと冷ややかに傍観している。(ようにみえた。)二三年の辛抱よ、子供が小さい時は仕方ないのよ、家にじっとしているのが一番いいのよと。

私は表面は一生懸命賢母らしさを装っていた。ほんのちよつとどこかを押せばドタドタとあられもなく倒れたであろう我が身。そんな毎日をおくっていたあの頃、あの「あんふあんて」の記事を目にしたのであるから、その時の共鳴は何とも言い難いものであった。私にとって最初にあんふあんての会合は、今もって輝いてみえる程感動的、印象的であった。何もかもが素晴らしいと思われた。とにかく私だけではなかったのだという思いで一杯だった。「あんふあんて」の集まりを何をさておいても優先し、子供の手をひき、バスを乗り換え乗り換え、仲間を求めていった。

★いろいろなベビーベッドの 利用法 ・片面をはずしてファストベッチどうぞ!!



取り残されたい様子をみつけては本も読んだ口下手で恥をかこうがどうしようが、とにかく仲間を求めて外へ外へ出て行った。あの頃の感激、エネルギー、新鮮さが強烈なだけに私はあんふあんてから、多分離れられないのだと思う。私自身安易な方向にしか進みきれないつまらない人間だから、誰かに何か頼ってないと安心できない弱い人間だから、心の拠りどころとして、あんふあんて、あんふあんての仲間、が必要なのだと思っている。

仲間意識を強調しすぎてそこから離れていった人も何人かいるけれど、皆あんふあんての主旨にとっても賛同し、最初の強烈な感激みたいなものは忘れてはいないと思う。何となく最近はいきなり今にも油が切れそうな気が配がするけれども、一度も止まっていたことはないのだからこれからはもうずっと回転し続けていくだろうと思うし、私もそれにほんの少しでも役に立てればと思っている。(近藤)

私にとっての あんふあんて

なんだけ なんだけ
なんという名前だけ
あつそう あんふあんて
っていう名前だけ
あんふあんてってなんだけ
あ、そうそうすばらしい
人達のあつまりヨネ
おほい人達らしく生きて
ゆるる社会をつくるうとして
いる人達のあつまりヨネ
ありきたりの人達の
あつまりじゃないのよ
いかに生きていこうかと
いつも考えている
人たちのあつまりヨネ
みんな 声をかけあおう
あんふあんてにあつまる

吉村

1を一日中やってみて、一回転ジェットコースターに乗ってみたい、できれば北九州にもホーキ星のような女の子の出会える場所をもちたい、お金が欲しい、あんふあんてを日本中の子たちの女たちに伝えたい。(山田)

お題があまりにも抽象的なので一体何を書いたらエエのか悩ま苦しんだ末、そもそも自分で自分が入会したのかということをつくり出し出してみました。

あの頃――
くる日もくる日もハンでついたような単調な生活、その「単調」の中身たるや、その言葉のもつ暇そうなきびきとは正反対にそれはもうすさまじいもので、朝起きてから夜眠りにつくまで全く昼寝をしないし、目をさましている間は何かあろうとキゲンよく横になっ
抱きあげてくれるまで何時間だって泣きわめくという全くこれに見る母親泣かせの赤ん坊の為に「忍」の一字の日々でした。
よくぞ私は子殺しをしなかった、運がよかったと、自分はもちろん友人たちも心の底から感心するくらい私の初めての作品である小さな男は、本当にもう類まれなる暴君でありました。(このことは今だに折にふれ語り草となっている。)

子供好きでなかった私は実に初めて触れた赤ん坊がわが子という有様でした。しかもそれが、お世辞にも手のかからんおとなしい子とは言えない子だったからたまにません。肉体的疲労に加えて精神的疲労もひどくて夜やと子供が寝ついたあとも泣き声の幻聴に悩まされたり熟睡できなかったりしました。さささと出りやいのには彼はバイトばかりしていたのでいつまでも大学にいて宙ぶらりんの生活でした。(今もあまり変わらんが)ふとしたはずみで子供ができてこの地に住み

つくことになった私は近所の人からは学生のくせにと好奇の目で見られるし、心から話せる友人は近くにはいませんでした。
なんで私は毎日毎朝から晩まで髪ふりみだして赤ん坊の世話ばかりしてないといかんのや!

くる日もくる日も育児とそうじ、せんたく、めしたきにあげられる中で私のいらだちやあせりは増大していききました。

赤ん坊連れでも何かやれるはず。
赤ん坊連れでなければわかん矛盾を社会に訴えていかんなん。

男たちや、私は何の差別もうけてないと思
っている女たちには決して見えないものを訴
えていかんなん。

それは今が一番。(いの一番ノ)

とまあ私の入会の動機をふり返ってみると、これはもう実に赤面してしましますが、えらいノの一言。

それでは入会してから何をしたいのかとふり返ってみるとこれがまたまた赤面してしまふ。みんなの口からもよく出ることですが、この輪になってこんなに親しい友だちができるなんてねエというのですねエ。この点に關しては私もホンマやねエと思っております。

でもこのせつかく親しくなった子持ちのお
んなたち、これからどこへ行くのでしょうか。

ホンマ、人ごとではありませぬ。しつかり
せなあきませぬ。せつかくの今日、せつかく
の今、なんでこんなにボサッとしとるのかと
自分にムチ打って、子持ち女の目だからこそ
見える問題を考へていかないかんと思ってい
ます。(小野)

グループ況



●南神奈川グループ

昨年暮れより、新メンバーが大幅にふえ、(登録メンバー十八名)新規まき直し、またグループの第一歩を歩みはじめました。毎週木曜日の午前中、場所は小田急線相模大野、大野南文化センター。共同保育実施を目標とし当面はメンバー相互の親睦を図る意味もあって、二歳以上の子供達を保育室に預けての読書会や手づくり会、子供といっしょのスポーツなどを順番にやってきました。

今日は、そのスポーツについての報告です。センターで、たまたま和室の予約ができた時はスポーツ日と決めていますが、以前センター職員の方と雑談している時、何気なく子供連れでのスポーツなら、トリム体操なんかいいですよ、といわれ、じゃあ一度やってみようか、ということになっていました。センターの男性職員に指導をお願いし、第一回目を実施したのが一月十一日。二回目が二月十五日。

実は二人の先生方は、指導するのははじめて、ということと、先生も生徒も、はじめは少々緊張気味でした。前半、室内体操。子供たちは、二歳以下の子は、ママたちが張り切っているのにまごついたのか、初回はダッコをせがんだり、まっわりついたりしてしまし

たが、二歳以上の子は、皆、大人の真似をしてとても楽しげでした。後半、グラウンドでダンス。芝生の上でボールや棒を使つての体操、鬼ごっこなど。小さい子は、そばの砂場で遊び出しました。二歳以下の子は、まだ一緒に体操するのは無理なようでした。素人先生方も、生徒たちが喜々として動き回るのに刺激されて、ノリノリで、指導に熱が入ります。仕上げはヒット曲を流してのランニング。二回目の時には、砂場に子供を遊ばせに来ていた二、三人の母親が、いつの間にか、子供と共にランニングに飛び入り参加、というハプニングまで起こりました。親も子も大満足。日頃、読書会や話し合いの時には、何となくことばを出し切らず、話が煮つまらず、ことばや文字が、胸の中に少しづつたまっているような思いを味わっています。この二回のトリム体操では、単純に身体を動かすことの爽快さを存分に味わったことでした。

尚、読書会は「子供からの目立」を学習中。保育室の問題にぶつかったため、センター保育室のことについて、センター側、ボランティア保育母を入れての三者座談会を二月二十二日に実施したところです。(相模原市)

●静岡グループ

昨年から始めたブロック毎の持ちまわりによる例会も順調に行なわれ、ブロック内での交流が段々活発になっていくようです。今年からは例会形式の共同保育をしてみようとか相互保育を積極的に呼びかけ合つてしてみよう(今までも名簿等つくっていただけ、不活

発だった)というところとです。ブロック毎の共同保育へと進んでいくのですが、規則なども決めてあったけれど不徹底だったり、又、新しい会員のためにも規約を作ろうという事になり、今作成中です。そして今までは静岡独自で会員を募集したため、東京に事務局があつて全国に会員がいることなど知らない人も多かったため、全員話し合いの上登録することになりました。(清水市)

●浜松グループ

新しくグループが結成されました。同じ宿舎の人達に英・独会話を教え始め、その時の子どもの預かりつこがきっかけです。アメリカでの経験者もいて、話し合いで次のようなベビーシッター制度をつくりました。持点一人百点。預ける場合、昼間(九時～六時)一人三十分につき一点、夜間二点、宿泊五点、入浴一点、食事一点。各自名簿をみて交渉。英単語のカードを一枚一点として預かってもらった人にカードを渡す。預ける時は必ず緊急連絡先を書いて渡す。毎月末に会合をもち問題点について話す。そして保険、もちろんあんふあんにて入る。等まず、システムだけ作ってしまったので、中味がどうなるか、これから試行錯誤の連続だろうと思いますが、すでに子ども達は毎日一緒に遊んでいる仲間だし、家も近いし、なんとかなるのではないかと考えています。私達の住んでいるあたりは山を切り開いてできた所で、おとなにとっては刺激の乏しい所ですが、これから自分達で生活を築きむにいらんなものを創り出し

ていきたいと思つてます。みんなやりたい事を胸いっぱい持っている女達なのです。連絡先

●千葉さつきが丘グループ

保険のことがきっかけで、あんふあんにて新しく加わりました。スタート時には何かと問題が出(しつけのことなどいろいろ)、発足が危ぶまれてたのですが、何度も会合をもち、とにかくやってみようということになり、十月より五家庭七名の子で当番二人で行なつております。共同保育は週一度(木)十時～十二時。又、当番の時でも、子ども一人一時間一点ということと、労働のプラスマイナスのノートを各自がもち、共同保育以外の時にも互いに保育しあつております。始めの主なねらいは、一人つ子の多いこの頃、母子で一对一で一日過すのは良くない、何とか他人と接する機会をもたせたいということでしたが、自由に買い物に行ったり、生まれのプラス面も出てきたようです。今のところは当番がすぐまわってくるので、習い事などはむりなようですが、できればと考えています。(千葉市)

連絡先



からだのおしゃべり会



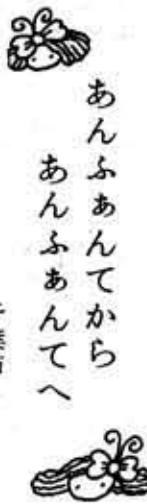
月経中の女は何か仕出かすと言われたりする。一方体臭を気にしているとも言われる。最近、葉緑素や活性炭で処理したナプキンが売られているけれど、メーカーは女の生理を利用して商品を売り出すから腹が立つ。私は私の臭いを大事にしている。月経中に出てくるものは経血やおりものであり、これは悪臭など放っていない。特別な臭いは処置の後でナプキン等が空気に触れて発生する。普段女達はナプキンやタンポンの取り換え時に臭を配る。何故かと言えれば月経中は雑菌に気をつけるからで、体臭を気にしていることではない。おりものは腔を自浄する効果をもっている。病名がつくような事態が子宮や卵巣に起つたりすると、いち早く強烈な臭いや色で私達に知らせてくれる。PH7位のおりもの酸性度は砂糖抜きヨーグルト程の酸っぱさであり、私達の体力が弱つたりすれば酸性度は下つてしまふから腔の自浄作用が無く普段の自分の臭いが判らなくなつてしまふ。このようなしくみだから女達は汗の臭いや口臭と同様に体調を知るバロメーターとして常に仲良くしたい。

葉緑素や活性炭はちつとも有難くは無いし、まして腔洗浄の為のビデなどは雑菌に対して子宮へ直行するように道を作つてやる為のもの以外の何ものでもない。又、カチンカチンのタンポンは、ただ小さいばかりで腔の中で移動を起すから乗り物に長時間乗れば、充血している月経中の腔は必ず傷ついてしまふ。月経用品を種々点検してみると女達を取り巻いている商品の状況が決して良くないことが判る。(森)

たべものはなし



私達、静岡グループの二月例会で食品添加物の映画を見て以来、いわゆる有害成分の含まれている食べ物についていろいろ考えています。(もちろん、今までだって気にはなっていたんだけど)化学調味料がヤバイっていうんで「だしの素」をやめて、コンブや煮干しに切りかえようと思つていた矢先、新聞でほとんどの煮干しには酸化防止剤が入っているなんていうし、生協に参加して共同購入しているんだけど、合成洗剤を正々堂々と扱っているんでは、生協の食品類もそう安心はできないんじゃないかって気がするし……。全て自然食品店で買つてくるとなると、経済的にすごく無理があつて今のところ一体どうしたらいいのか頭を悩ませています。できるはうんで少しづつ改善していくしかないとは思いますが、みなさん、実生活の上でどうやっているのか具体的に教えてほしいんです。



あんふあんてから

千葉市

三月十四日付の新聞で高島屋に「大輪のバラ」の見出しで、石原一子さんが取締役就任するとの記事。前日の新聞には日産自動車を手どって戦っていた中本ミヨさんの裁判で「定年退職年齢に男女差をもうけるのは違法だ」との東京高裁判決。その判決文の中で特に印象に残ったのは「男子は一家の柱であるが、女子は夫の生活扶助者で家庭に帰すべきだ」という日産自動車の主張はわが国の実情に合致する国民一般の認識と相違すると述べられている点である。

この二つの明るいニュース。早速近所の親しくしている人に「いい話ね」ともちかけると「働いている人たちの事でしょ」とまったく関係ないといった感じ。それで思い出したのだが、ちょっと前、フェミニストという雑誌である女の弁護士が「主婦をフェミニズム運動の仲間として認めるかどうか」というところになっているのでは」といった意味の事を書いてあって、びっくりしてしまったことがある。同性でありながら（ある故にか？）どうして働いているか否かで、こども色分けしなければならぬのか、それを喜ぶのは誰なのか。

我々女が仕事をもち続けようとした時、ぶつかる壁として、

- 大卒女子に開戸を開こうとしない企業
- 結婚退職・出産退職などの若年退職制

●再就職の場合の年齢制限

●保育所などの不備（特に零歳児）
などがあげられると思う。では、この壁をくずしていくようにして一体何がやれるのか。例えば、大卒女子を毎年大量採用するイトーヨーカドー。毎日の雑貨、食料品は十円安いとどこかのスーパーへ出かけるよりこへ。化粧品は朝日新聞の「人」欄で暴言を吐いた重役がいる資生堂はやめて別のメーカーに変える。それも黙って変えてはおもしろくない。販売店で理由をはっきり言って切り替える。自動車は日産のセールスマンが来た時、買う気があろうとなかろうと「一」の理由で日産の製品は絶対買いたくありません」と言う。具体的例をあげればきりがなが、食料品から建て売り住宅、マンションに至るまで、我々は幸か不幸か唯一、消費者なのだ。それ日本主の主婦は欧米などよりはるかにそれらの決定権をもっているという。もちろん、そういう類の情報をすばやくキャッチするようアンテナをはりめぐらしておくことは言うまでもない。

●最近、この地方にもミニコミ誌が創刊され

文化の花が吹き始めたと、喜び勇んでこの雑誌の編集長へあんふあんての話をしましたと

情報コーナー

●染色を教えます

昔とったきねづかを忘れたくないのです。料金のことなどは相談の上。興味のある方は電話して下さい。
高山

●駆け込み寺をつくりたいと思っています

自分自身、現在夫と離婚裁判中で別居している二十七歳の二児の母親です。尼僧の資格を持っていますが、宗派に関係ない男女平等な新しい宗教を目ざしたいと思っています。今度、廃村や空寺を借り受け現代版駆け込み寺をつくりたいと思っていますが、協力してくれる仲間を求めています。大体の青写真は次の通りですが、細かい計画は集まった仲間達と話し合っていくつもりです。又、意見だけでなく役に立ちますので、お寄せ下さい。
①長続きする様に、場所や方法を考える（現在、廃村、空寺を募集中です、御協力を）
②出入りは全く自由とし、住みつくのも自由で期間も限定しない。その場合、なるべく金のかからぬ様、手づくり生活で食糧を確保。
③どうしようと思ひ悩む女の心と体の休憩所。
④子どもを明るく伸び伸び育てる手助けの場。
⑤経済的・精神的自立への足がかりの場。

●東京照射ベビーフードを追求する親の会

決成のお知らせ

去年の九月に発覚したベビーフードに放射線を照射した事件。そろそろ自分も世間も忘れかけているのではないのでしょうか。ベビーフードの売れ行きの心配や責任逃れに終始——「データーがないので断定はできないが常識的には問題ないと思う」等々。本当の被害者である子どもたちのことを無視した発言など見過すことはできません。そこで万が一の事態に泣き寝入りしないですむように、各地で親の会を決定するよう呼びかけることになりました。小さい子どもを抱え、たいへんな時ですが、風化しないうちに子どもたちのリストを作り健康を調査し、国、企業に責任を追求しましょう。

四月の下旬までには集会を開きたいと思っていますが、とりあえずハガキで連絡してください。なお今後の進展いかんによっては、発表された野菜スープなど以外にも混入していた可能性も考えられますので、やはり、登録とかのはっきりした形にしておいた方がよいと思います。
連絡先

（又は「日本消費者連盟」「薬を監視する国民運動の会」でも可。）

●一日店をやりますか

四月十五日（日）井ノ頭公園弁天市に一坪店を出そうと思います。一緒にやりたい方連絡下さい。 神田

ころ、相手も乗り気で二週間後のグループ紹介に載る事になりました。そしてその日が来て、私は今か今かと電話のベルが鳴るのを待ちました。一日、二日、三日……電話なし。四日目、私はここでペンを取ります。

私と同じ様なヤングミセスは沢山いるのに一緒に子どもを遊ばせる事や、女としての話など必要ないのかしら。託児付文化活動などいろいろな事を考えていたのに。本当にがっかりしました。やっぱ、ここは田舎なのかナ。時がたてば人の認識も少しは変わるだろうから……

ところで会員の中で、私と相互保育をしてみようという方、いらっしやいませんか？ 当方、何かやりたい、やりたい病にいつもかかっているママゴン、二十八歳です。

東大和市

先々月号にシャボン玉液の話がでていましたが、私が最近しこんだアイデアをお知らせします。空になったビールの底に、残った一しずくのビールを、小さなビンにためておくのです。さて、子どもがシャボン玉をしたいたといったら、それに石けん液をまぜこむと出来あがり。びっくりするほど大きいシャボン玉ができます。理由は分かりませんが人からきいて半信半疑でやってみたら本当でした。それから、吹く棒の方も、ストローの先に何本かきりこみを入れてたこの足みたいにくる丸めてみたり、古はがきをラップ状にくるくろ丸めてみたり、色々くふうするとおもしろい。ぜひ試して下さい。くふうの輪を広げて合性洗剤シャボン玉を追放しましょう！！



●フランス刺しゅうをやってみませんか
三・四名のグループには出張教室を致します。一ヶ月一回、月謝千二百円。日本刺しゅうもやっています。午前中か午後六時すぎにお電話下さい。

●ゆずって下さい、ゆずります

七・八歳用男児半ズボン、三・四歳用女児服ゆずって下さい。大型ベビーベッド（白）カヤ・マット付き。コンビラック。歩行器。お宮参り用ベビードレス。一緒に五千円でゆずります。

●出合いの教室「まゆの会」第三期生募集

さまざまな講師や仲間との出合いによって自分の生き方を問い直そうとする会です。月二回（原則として火曜日午前中）池袋豊島区民センターで。三歳位から託児あり。入会金二千元、会費六ヶ月分一万円。問い合わせは、

●共同保育の体験談・パンフを求めています
「子を産むおんなも、子を産まないおんなも、子を産めないおんなも、おとも、子も、おんなの命とが、子育てにかかわっていかない限り、子を産んだおんなの孤絶した単調な子育てのあり方が変わることがない。ちょっと出歩きのにさえ、保育所が必要になる社会というのは、身障者は施設に居る。」「きたない奴ら、病氣持ちは隔離しろ。」「おんなは邪魔だ。」「e.t.と、能率を最優先し、ひとを疎外し、被差別者を排除する社会ではないのか。おんなのかいほうは、自分たちだけの、あるいは現在の社会の要請に従って、子どもを、邪魔にならないように、あちこちに必要に応じて、閉じこめる。」というものであつてはならない。」「そう考えて、将来共同保育をしようと考えている早稲田大学政治学科一年生です。四月から私の属している両性問題研究会に、子産み・子育て分科会」を設け、「理論や統計ではない、肉声に学び、将来に活かす」学習活動をしたいと考えています。共同保育の体験をつづったパンフレットがありましたら、是非とも送って下さい。送料と一年後には当会の作ったパンフレットをお送りします。郵送料を払願ひします。



事務局から

●グループリストの訂正を次のようにしておいて下さい。

久我山・鳥山グループ 連絡先変更

メンバーは変わったけど活動は続行中。
目白グループ 連絡先変更

市原グループ(徳島市の) 解散

四月で幼稚園へ行くメンバーが多いため、江東グループ「ことりの会」と命名

●以前から「昭和何年」というのには抵抗があったのだけど、何となく伝票とか、公式の書類はそれじゃないと通用しないのではないかと、他のミニコミの人たちの影響もあって今度切り換えることにしました。

★入会申し込みは切手三百円分同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。宛先は表紙上段に記載。
★参加費は一ヶ月三百円。なるべく六ヶ月以上まとめて郵便局で。払込先は表紙に。特に未納の方は至急払い込みを。
★事務局の電話受付は原則として月一金の1/3時です。御協力を。

編集部から

●又々、映画の話。ヨカッタヨリ「デューハンター」ベトナムと男たちといったテーマ。アカデミー賞まちがいなし。見なきゃ今年一年のソソです。

●「週刊朝日」4月5日号に「大学公開講座」の全国リストがのっている。向学心にもえて、人は是非一読を。

(古知)

●初体験の北九州グループ編集をやった。いざ原稿用紙に向かって字数の組み合わせ、レイアウト、どれをどのようによれば良いのかさっぱり分からず、まずこの情報誌の様に一応原稿用紙をセロテープで張り合わせ、ペダ字を並べてカットを組み合わせ……。たった一回でこんなに大変なのだから毎月の情報誌編集今さらながら感謝ノ 北九州グループ (吉村)

スケジュール・メモ

4月8日(日) スタッフ会議5月号企画立案
4月15日(日) 井ノ頭公園弁天市(神田さん)
4月15日(日) からだのおしゃべり会
4月20日(金) 5月号投稿締め切
4月22日(日) スタッフ会議5月号編集作業
4月28日(土) 5月号校正
5月6日(日) 5月号発送
5月13日(日) 6月号企画立案
5月20日(日) あんふあんでバザー